

環境厚生常任委員長報告

(H 3 0 . 1 2 . 1 4)

環境厚生常任委員会に付託されました議案について、審査の経過概要とその結果を報告いたします。

まず、**第 1 号議案、平成 3 0 年度一般会計補正予算の本委員会所管分**ではありますが、その主な内容は、

民生費では、公立保育所において災害に強く、安全で快適な保育環境を整備する経費として、公立保育所運営経費の増額補正、

衛生費では、先般の災害に伴って発生した災害廃棄物の処理費用などに係る粗大ごみ処理経費の増額補正であります。

災害復旧費では、台風 2 0 号により被害を受けた別院保育所における復旧事業費が計上されております。

また、債務負担行為については、塵芥処理施設等の運転管理に係る経費などについて設定されております。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 2 号議案、平成 3 0 年度国民健康保険事業特別会計補正予算**については、前年度の決算における剰余金を国民健康保険財政調整基金に積み立てる経費等の増額補正であります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 5 号議案、平成 3 0 年度病院事業会計補正予算**については、材料費等を増額補正するとともに、給食業務等の経費に係る債務負担行為について予算に定めるものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 1 2 号議案、亀岡市立老人福祉センター条例を廃止する条例の制定**については、老人福祉センター及び亀岡地区自治会館を、平成 3 1 年 3 月 3 1 日をもって廃止することに伴い、当該条例を廃止するものであります。

採決に先立ち、第 1 7 号議案と関連した反対討論や、過去からの経過を考慮する中での賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 17 号議案、財産の無償譲渡**については、老人福祉センターについて、地域住民の自主的活動の場が確保され、良好なコミュニティを形成し、市民の連帯意識の醸成と自治意識の高揚を図るため、亀岡地区における自治会活動の拠点施設として、一般社団法人亀岡地区自治振興協議会に無償譲渡しようとするものであります。

採決に先立ち、譲渡により本当に地域住民の良好なコミュニティの形成に役立つのか、譲渡の相手方が公共的団体と言えるのかどうか疑問である、また、譲渡の相手方が当該施設を譲り受けるために設立された団体だと言わざるを得ず、これは地方財政法第 8 条や地方自治法第 237 条第 2 項に反するとの反対討論がありました。一方で、第 12 号議案と同様に、過去からの経緯を考慮する中での賛成討論があり、採決の結果は、賛成多数をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第 19 号議案、平成 30 年度一般会計補正予算の本委員会所管分**については、職員の人事異動等に伴う国民健康保険事業特別会計における人件費の減額に伴い、一般会計から国民健康保険事業特別会計への繰出金を減額補正するものであります。

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第20号議案、平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算及び第23号議案、平成30年度病院事業会計補正予算**については、いずれも職員の給与条例の改正及び、人事異動等に伴い職員人件費等を補正するものであります

別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

以上、簡単ではありますが、本委員会の報告とします。

老人福祉センターの建物を無償譲渡

財産の無償譲渡につ

いて

可決（賛成多数）

要望していた。

【主な質疑】

問 譲渡後の運営は

きちんに行われるのか。

答 譲渡の相手方は、

これまで本市の事業を
推進する役割を果たし

てきた経過と実績があ
り、公共的団体である

と考える。その後の運
営についても担保でき

ると考えている。

亀岡地区の住民の自
治会活動の拠点として、
亀岡市立老人福祉セン
ターを（一社）亀岡地
区自治振興協議会に無
償譲渡するもの。本件
については、平成29年
9月定例会において管
理・運営の是正を指摘

災害ごみの処理に関する経費を増額

一般会計補正予算

可決（全員賛成）

○粗大ごみ処理経費

2638万5千円増額

台風21号・24号など

により発生した災害廃
棄物および粗大ごみの
処理に係る経費などを
増額補正するもの。

答 屋根瓦や木材、壁、
倒木などが多い。

問 今後、どのように

災害ごみの受け入れを
行っていくのか。

答 分別して持ち込

んでいただくよう、事
前に広報していきたい。

ようやく片付いたとい
う意見も聞いているの

で、少し期間を延長し
て受け入れる体制を整

えることも考えたい。

【主な質疑】

問 災害ごみの主な

ものは。